

極楽寺山



植物観察登山マップ



最高から瀬戸内海を望む



モミ (遅年) マツ科
常緑 高木 中腹～山頂
樹の先端が矢羽の様に二つに分かれているのがモミ。分かれていないのがカサ。



シロモジ (3月) クスノキ科
落葉 低木 山頂に沢山
早春にオフ黄色の花が咲く。縁で新芽が見えて、葉は深く三裂。花更にうす緑色の蜜がついて、触ると発ける。葉裏は濃い。極楽寺山の代表木の一つ。



ウスギヨウラク (春)
ツツジ科
落葉 低木 中腹
薄黄色のつる植物の可愛い花が咲く。



ハイノキ (5月)
ハイノキ科
常緑 小高木 八合目～山頂
白い花が雪のように咲く。枝に黒い実がついて、この木の実は茶色の楕円形になる。



モリヨウカク (5月～7月)
イデヤクソウ科
腐生植物 八合目～山頂、遊歩道
うず高く伸びた草の中に生え、重音を持たせたいため、葉は花も葉も全く、花の蜜の香りな花。別名ユウレイアズ。



ミヤマシキミ (10月～2月)
ミカン科
常緑 低木 八合目～山頂
絶世異性。有毛。葉は楕円形で、表面に凹凸があり、葉は赤い棘状になる。



編集後記

広島市の西部にそびえる壇山・極楽寺山は、歴史と文化そして原生林に恵まれた自然の宝庫です。極楽寺山に魅せられた私たちは、「観音台公民館」「極楽寺山生態検証隊」の実践活動の一として、観音登山道を中心とした植物観察マップを作成しました。昔は、その途中に茶店もあったと云われる旧觀音登山道は、今は、国土地理院の2万5千分の1の地図にも記載されておらず、そのためか、豊かな自然がそのまま残っています。私たちは、平成13年度から、自らの足と歩数そして磁石と高度計で、この旧道のルートを確かめ、また、四季折々の特徴ある樹木・草花をカメラに収めました。そして、これらの記録をこのマップにまとめました。このマップが、これから觀音登山道を散策される方に少しでもお役に立てば、嬉しく思います。

極楽寺山

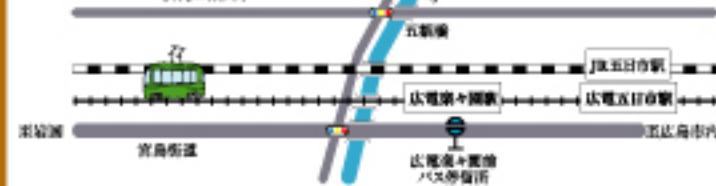


極楽寺山観音登山道へのご案内

広電バス「東郷台入口」行き乗車。
「観音台入口」下車後左上前方へ。
山陽自動車道高架下をくぐり、資料館前左側の登山口へ。

コースタイム

登山口から約1時間30分
(ゆっくり歩がす)
下り約1時間



極楽寺山でよく観られる植物

シロモジの葉



イヌブナ (春)	ブナ科	クロモジ (春)	クスノキ科	コシアブラ (春)	ウコギ科
樹種 落葉 高木 場所 中腹 新緑が美しい。花は小さいので見えにくい。ブナに似ているが樹皮が黒褐色で別名黒ブナともいう。		樹種 落葉 低木 場所 登山口～山頂 花はシロモジに似て黄色。 クロモジは花と葉が同時に咲く。 色や葉は香りが良く、青寂つまようじにする。		樹種 落葉 高木 場所 登山口～山頂 新芽の時は天ぷら、ごま和え等で食べられる。 絶木帽子(キヨウギヤオウシ)の材料。 別名シロギ、バッカンギともいう。	
コバノミツバツツジ (春)	ツツジ科	ササバギンラン (春)	ラン科	シキミ (春)	モクレン科
樹種 落葉 低木 場所 登山口～山頂 日当たりの良い所で紅紫色の花が咲く。サクラ(ソメイヨシノ)と同じ頃咲く。 雪かい地方の代表的なツツジ。		樹種 多年草 場所 山頂 木陰に生え、高さ40cm位で、白い花を付け、葉の付き方が茎に似ている。		樹種 常緑 小高木 場所 登山口～山頂 「崩しき実」に名が由来し、有毒。 葉は光沢、香りがある。花はクリーム色。 種子はハックカと見間違えやすい。 別名ウジゴロシ。	
セトウチウンゼンツツジ (春)	ツツジ科	タムシバ (春)	モクレン科	チゴユリ (春)	ラン科
樹種 半落葉 低木 場所 中腹 花は白、夏も花も小さいツツジ。 登山道中腹に群落がある。		樹種 落葉 低木 場所 中腹 早春に山を白く飾る。 コブシとよく間違われる。 花の下に葉がないのがタムシバ。		樹種 多年草 場所 中腹～山頂 茎の先に1つの可憐な白い花を付け、実は夏に青黒く熟す。	
ヤマザクラ (春)	バラ科	イチヤクソウ (初夏)	イチヤクソウ科	オオバノトンボソウ (夏)	ラン科
樹種 落葉 高木 場所 登山口 日本古来の桜。花と葉が同時に咲く。若葉が赤褐色。		樹種 多年草 場所 中腹～山頂 葉剤があるといわれ、5月～6月に可愛い上品な白い花が咲く。		樹種 多年草 場所 中腹～山頂 林床に生える。葉は下の2～3枚が大きく、花は淡緑色でトンボに似ている。一年目は葉がまだ一枚で、花がつかない。	
クマノミズキ (初夏)	ミズキ科	コアジサイ (初夏)	ユキノシタ科	サワギキョウ (夏)	キキョウ科
樹種 落葉 高木 場所 山陽道上り銀葉原下 クリーム色の平たい花が満開で迎えてくれる。		樹種 落葉 低木 場所 中腹～山頂 花はガクがなく、青紫色の小さな花が団結して咲く。		樹種 多年草 場所 蛇の池のふち 深い紫の花を付け、印象深い花。有毒。	
タマゴタケ (初夏)	テングタケ科	ツルアリドオシ (初夏)	アカネ科	バイカツツジ (初夏)	ツツジ科
樹種 キノコ 場所 中腹 コナラ、シイ、カシの林床に真白い房状で生える。そして中から朱赤の實が出る。紫蘇の紅テング菌と間違えやすい。		樹種 多年草 場所 中腹と池のまわり 初夏に二つの白い花をつけ、子房は合着して秋に一つの実になる。		樹種 落葉 低木 場所 中腹 2cm位の白い梅のような花で、花弁の中ほどに赤い斑点がある。	
アベマキ (秋)	ブナ科	ウリハダカエデ (秋)	カエデ科	コウヤボウキ (秋)	キク科
樹種 落葉 高木 場所 中腹～山頂 樹皮はコルク層が10mmにもなる。秋、この実を見つけると必ず手にしたいと思うようなトングリの実。		樹種 落葉 高木 場所 中腹 カエデの中で葉が一番大きい。紅葉はとても美しい。葉裏がマクナフリの模様に似ている。		樹種 落葉 小低木 場所 登山口～山頂 秋に白い花が咲き、冬には落葉した枝に錐毛状の葉を付ける。高尾山ではこれでホウキを作った。	
コマユミ (秋)	ニシキギ科	ゴンズイ (秋)	ミツバウツギ科	サネカズラ (秋)	モクレン科
樹種 落葉 低木 場所 中腹 秋、紅葉しても大変美しい。はじけた赤い実は2個一対で印象深い。		樹種 落葉 小低木 場所 登山口～中腹 花は春に咲く。秋、紅葉も美しく、実が熟して開けると内側が赤く、種は黒やかな果。果のゴンズイに名が由来。		樹種 常緑 つる性 場所 登山口 花は8月頃咲く。秋に濃い赤色の実が手裏袋状でぶら下がっている。別名ビナンカズラ。昔、ボマードの代用品にした。	
ツチグリ (6月～秋)	ツチグリ科	ミヤジママコナ (初秋)	コノハグサ科	シロダモ (初冬)	クスノキ科
樹種 キノコ 場所 中腹の山の斜面 褐色の2cm位の球状で、熟すと星型に裂け、中の袋から子嚢が飛び散るユニークなキノコ。		樹種 1年草 場所 登山口～山頂 日当たりの良い山腹で見られる。赤紫の花を咲かせ、花の中にご飯粒のようなもの(ママコ)がある。		樹種 常緑 中高木 場所 登山口～山頂 雌雄異株。11月頃、花(実)と実(果)が同時に咲かれる。春には、垂れ下がった銀色のベルベットのような新芽が生る。その後3行新芽が目立ち、葉裏が白色になる。別名シロタブ。	
フユイチゴ (初冬)	バラ科	山頂・蛇の池周辺 マップ			
樹種 常緑 つる性 場所 登山口 秋に白い花をつけ、冬に赤い実に熟し美味しい。別名寒イチゴ。		<p>山頂・蛇の池周辺 マップ</p> <p>主な草花</p> <ul style="list-style-type: none"> シロモジ、クロモジ、アカガシ、ヒメヤマツツジ、レンゲツツジ、アセビ、コブシ、リュウウ、マルバハギ、ツクシハギ、キブシ、ヤブハギ、ソサゲ、カラマツ、ウスギョウラ、ミヤマナルコユリ、イチセウツウ、ササバギンラン、サワギキョウ、ミソハギ、アケメ、カキドオシ、スイレン 			
サンヨウアオイ (通年)	ウマノスズクサ科	<p>蛇の池周辺の主な草花</p> <ul style="list-style-type: none"> シロモジ、クロモジ、アカガシ、ヒメヤマツツジ、レンゲツツジ、アセビ、コブシ、リュウウ、マルバハギ、ツクシハギ、キブシ、ヤブハギ、ソサゲ、カラマツ、ウスギョウラ、ミヤマナルコユリ、イチセウツウ、ササバギンラン、サワギキョウ、ミソハギ、アケメ、カキドオシ、スイレン 			
樹種 多年草 場所 中腹～山頂 ハート型の美しい葉で、5月頃 ショコレー色の花が咲く。 県南部に多い。 ギフチョウの食草。					

